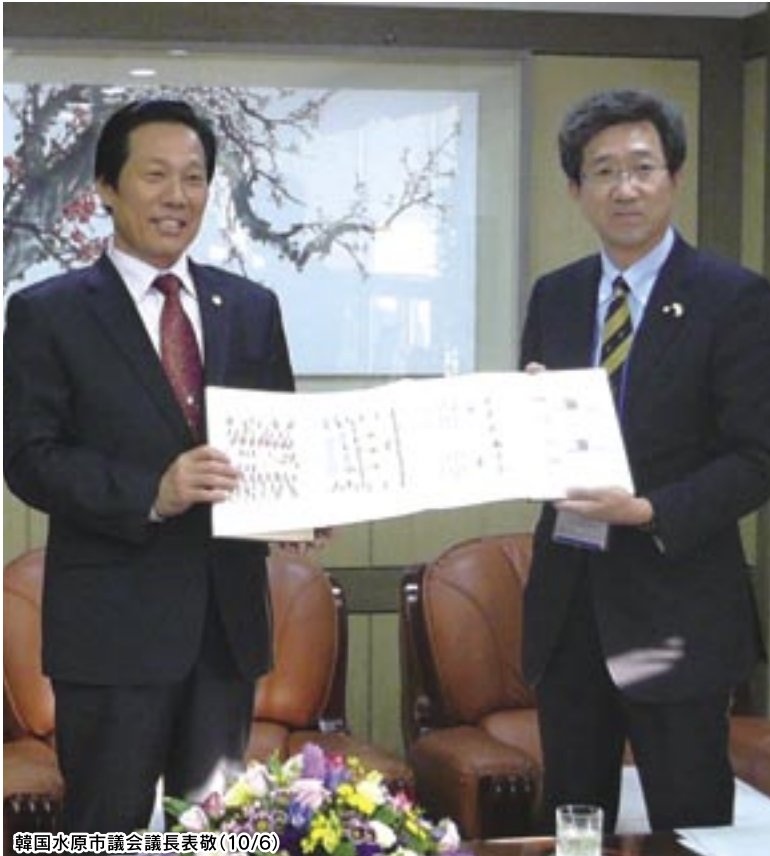


ふくい市議会だより



編集／発行 福井市議会事務局 福井市大手3丁目10番1号 TEL.0776-20-5510 平成24年2月10日発行 No.184



韓国水原市議会議長表敬(10/6)



友好都市提携10周年記念モニュメントの除幕式(10/7)



韓国水原市長表敬(10/6)

INDEX 主な内容

1	12月定例会の概要 12月臨時会
2	主な議案
2~3	委員会審査
3~5	予算特別委員会
5~6	一般質問
7	議会日誌
7	行政視察報告
8	議案等の審議結果

12月臨時会は、12月27日に開かれ、再選しました東村新一市長が所信を表明しました。
今臨時会では、「福井市保育実施条例の一部改正について」の市長提出議案1件、報告1件を審議した結果、議案は原案どおり可決、報告は受理し、同日閉会しました。

12月 臨時会 東村市政2期目のスタート

また、議員提出議案として、「緊急事態基本法の早期制定を求める意見書について」の1件を審議し、原案どおり可決し、関係機関に意見書を提出することに決定しました。
そのほか、市政に対する一般質問を23人の議員が行い、29日、予定した日程を全部終え閉会しました。

12月 定例会

平成23年度福井市一般会計補正予算を可決

12月定例会は繰り上げ招集され、11月2日から29日までの28日間の会期で開かれました。
今定例会では、9月定例会において継続審査となっていた平成22年度各会計歳入歳出決算の認定にかかる議案2件のほか、「平成23年度福井市一般会計補正予算」、「福井市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について」など、市長提出の議案11件、報告3件を審議した結果、議案は10件を原案どおり可決、1件に同意、2件を認定し、報告については3件を受理しました。
さらに、請願、陳情については、9月定例会において継続審査となっていた請願1件を審議した結果、採択とすることに決定しました。

平成22年度 一般会計・特別会計決算総括表

(単価:円)

会計区分	歳入決算額	歳出決算額	
一般会計	103,774,894,987	102,119,686,200	
特別会計	国民健康保険	22,476,892,287	26,017,125,814
	国民健康保険診療所	29,604,305	4,556,668
	老人保健	68,551,811	68,551,811
	後期高齢者医療	2,692,649,615	2,687,002,865
	介護保険	18,586,952,387	18,497,650,643
	交通災害共済	31,346,946	31,345,597
	競輪	10,961,067,344	10,785,341,503
	簡易水道	186,303,612	185,682,557
	宅地造成	5,730,709,324	4,719,627,697
	中央卸売市場	1,034,490,098	1,033,527,790
	駐車場	581,287,891	580,971,479
	集落排水	1,243,169,190	1,242,214,509
	地域生活排水	458,742,512	419,432,117
	福井駅周辺整備	1,010,050,353	1,009,491,095
	合計	168,866,712,662	169,402,208,345

12月定例会

各会計決算の認定

9月定例会において決算特別委員会に付託され、継続審査となっていた平成22年度各会計(一般・特別・企業)決算の認定について審査するため、9月30日、10月3日及び4日の3日間にわたり委員会を開催しました。審査の結果付託された各会

主な議案

今回議決した主な議案等は次のとおりです。議案等の審議結果は、8頁に掲載しています。

平成23年度補正予算

計決算の認定について、いずれも原案どおり認定しました。今回の補正予算は、一般会計で6億5、149万4千円、国民健康保険特別会計で3億7、000万円、介護保険特別会計で9、598万円を増額するもので、補正後の予算額は全会計で2、088億6、343万9千円となります。

平成22年度 企業会計決算総括表

(単価:円)

会計	区分	収入	支出	収支
下水道事業	収益的収支	7,132,897,293	6,533,780,989	599,116,304
	資本的収支	5,374,702,318	8,299,972,752	△2,925,270,434
ガス事業	収益的収支	4,136,140,969	4,045,105,999	91,034,970
	資本的収支	379,529,000	1,163,565,305	△784,036,305
水道事業	収益的収支	4,960,408,887	4,574,357,913	386,050,974
	資本的収支	1,689,163,779	3,917,697,724	△2,228,533,945

- 収益的収支:(料金収入等)-(サービスの提供に必要な経費等)
- 資本的収支:(企業債等)-(建設改良や企業債<元本>償還費など)
- 各企業会計の資本的収支における不足額は、損益勘定留保資金、消費税資本的収支調整額などで補っています。
- 消費税を含む金額です。

○一般会計補正予算

認定こども園の創設に係る施設整備に対して支援を行い、保育環境の向上を図るための私立保育所等施設整備補助事業、公民館での盗難・不法侵入の防止、不審者対策や火災の早期発見のため、事務室内に警備システムを設置し、施設利用者や職員を確保するための公民館警備システム設置事業など6億5、149万4千円を計上するものです。

条例

○福井市体育施設条例の一部改正について

障害者及び県外学生の合宿のための優先施設とするものです。福井市職員の給与の引き下げを行うものです。

○福井市職員の給与に関する条例等の一部改正について

人事案件

教育委員会委員

任期満了となる委員を補充するため、佐藤藤枝氏を選任することに同意しました。

市会案(議員提出議案)

意見書の提出

地方自治法第99条の規定により、次の意見書を内閣総理大臣ほか関係機関に提出しました。●緊急事態基本法の早期制定を求める意見書

12月臨時会

条例

○福井市保育実施条例の一部改正について

関係法の一部改正に伴い、所要の規定の整備を行うものです。

委員会 審査

各特別委員会、各常任委員会の委員長報告から、主な質疑等の要旨を紹介します。

決算特別委員会

問 救急講習会の実施状況は。

答 市民を対象に普通救命講習会、中学生を対象に守ろう命の講座を実施している。昨年度の実績は、普通救命講習会が5、100人、守ろう命の講座は2、015人が受講している。そのほか、救命器具を使用しない1次救急処置講習なども行っており、昨年度は6、821人が受講している。



産業活性化対策

特別委員会

《新連携体プロジェクト支援事業》

問 農業や福祉の分野でも企業が連携できるような取り組みができないか。

答 企業連携は双方の企業にメリットが生じることが重要である。職員は日々の企業訪問により情報交換に努め、分野を分け隔てすることなく企業連携を図っていきたい。

安全安心なまちづくり
対策特別委員会

《災害時の応急給水用資機材》

問 現在福井市が保有する資機材により、地震発生から3日間の生命維持に必要な目標水量を確保できると考えているのか。

答 福井地震のような大震災に対しては十分とは言えないので、近隣の水道事業者との応援体制を充実し、災害時には迅速に要請して目標水量を確保することを考えている。

西口再開発対策

特別委員会

《西口再開発ビルとのプラネタリウム》

問 福井県の人口を考えると、エンゼルランドふくいとのプラネタリウムとの共存は難しいのではないかと。

答 エンゼルランドふくいは、子供向けの施設であるから、西口再開発ビルとのプラネタリウムは、大人もターゲットとして進めていきたい。



経済企業委員会

《学生合宿促進補助事業》

問 補助申請はどのように行うのか。また、スポーツ系の学生団体しか対象にならないのか。

答 申請書を直接市に提出してもらおうことになっており、ホームページに掲載するほか、宿泊事業者や旅行者者からも補助制度の周知が図られている。

スポーツ系はもちろん、文化系の団体の活動も対象となるため、関係する部署とも連携し、市のイメージアップという視点も踏まえながら、今後も利用促進を図っていきたい。

教育民生委員会

《ちもり体育館》

要望 障害者のための優先施設ということであれば、玄関やトイレのバリアフリー化とあわせて、障害者が2階部分も活用できるように昇降機等を設置してほしい。

《福井市伊自良館の指定管理》

問 前回の指定管理期間が4年間であったのに対し、今回の更新が5年間で計画されているのはなぜか。

答 この施設の敷地は借地であり、前回は平成23年度末の借地の契約更新に合わせて4年間としたが、今回の更新では、指定管理者制度の基本的な期間である5年間とした。

予算特別委員会

委員長報告から主な質疑等の要旨を紹介しします。

委員の変更

9名の委員から辞任願が提出されたため、11月2日の本会議において、新たに9名の委員の選任を行いました。

【辞任】

宮崎 弥磨 谷口 健次

石丸 浜夫 今村 辰和

鈴木 正樹 堀江 廣海

谷本 忠士 片矢 修一

後藤 裕幸 (敬称略)

【選任】

西村 公子 見谷喜代三

野嶋 祐記 青木 幹雄

奥島 光晴 泉 和弥

藤田 諭 伊藤 洋一

田中 義乃 (敬称略)

審査結果

11月2日の本会議において予算特別委員会に付託された各予算議案及び市政上の重要案件について審査するため、11月22日及び24日に委員会を開催しました。

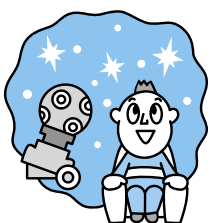
主な質疑

審査の結果、付託された予算議案については、いずれも原案どおり可決しました。
(議案名は8頁参照)

福井駅西口中央地区
市街地再開発事業

問 西口再開発ビルに設置予定のプラネタリウムについて、映像は天体に限らない幅広い使い方をし、また、小中学生の学習の場とするのであれば、科学に関係する施設を併設してより有効に使うてはどうか。

答 現在、全体設計を作成中であり、施設のレイアウト等を精査していく中で検討していきたい。



問 初期投資が約13億円、年間の運営経費が約7千万円と高額な費用がかかるのに対し、来場者数の見込みが年間約5万人では、プラネタリウムを設置する意味はあるのか。

答 現在ある他の施設の状況をベースに数字を積み上げるよりも、にぎわいにも寄与するスペースとしていかに有効に活用するかが大切であり、本市の置かれた状況ではプラネタリウムが良いと考えている。

第六次福井市総合計画

問 特色ある施策として、実施計画に三世帯同居の推奨を盛り込んでどうか。

答 三世帯同居については、世帯によって個別事情や考え方が異なるので、個別施策で対応することは難しいが、総合計画の4つの基本目標の中で、住居、子育て、就労、高齢者学習など施策全体で総合的に対応していく。

非常勤職員の任用

問 行政ニーズの多様化により職務が多忙となる中、非常勤職員の人材活用の観点から、経験を重視した採用や、正

員への登用といった任用制度を検討してはどうか。

答 非常勤職員については任用期間を最長1年としているため、昇給や昇任といった長期任用を考慮した人事管理は行っていないが、複数年の勤務を想定して、年次休暇の加算措置や翌年への繰越しを行っており、平成23年6月からは育児休業制度も導入している。

今後は人事面においても、評価に基づく更新決定の明確化など、やる気につながるしくみを研究していきたい。

国際化推進

問 国際化を推進していくためには市民主導型の国際交流活動が重要であるため、まず市職員の推進体制を強化して、行政として市民の国際交流をサポートしていくべきではないか。

答 行政が国際化の先導的な役割を果たすためには、人材育成や組織体制の整備が重要である。今後は、語学研修や姉妹友好都市への派遣により、職員の意識改革を図るほか、国際化に関する部局横断的な取り組みを進めていきたい。

認知症のケア

要望 認知症の種類によっては、対応の仕方や、処方される薬によって患者の生活が大きく変わることもあることから、それらを踏まえた認知症のケアを推進してほしい。

また、オアシスプラン2012の中では、認知症ケアは地域包括支援センターの職員が中心となり進める形になっているが、ぜひ市が率先して進める形としてほしい。

オアシスキット

(救急医療情報キット)

問 オアシスキットの配付申請ができる場所を増やしてはどうか。

答 自治会型デイホームや単位老人クラブの老人家庭相談員を通じて申請を受け付けることを検討したい。

誘致企業の撤退に伴う補助金返還

問 誘致した企業が撤退した場合の補助金の返還については明確な根拠づくりが必要だと考えるので、企業立地促進条例を見直して立地年数により返還金の額を規定してはどうか。

答 返還金の額は立地年数による一元的な規定とはせず、企業の意見を聴取して、撤退に至った理由、投資した金額などを調査する現在の方法により今後も決定していきたい。

企業誘致

問 企業誘致について、今後どのような施策を打ち出してはどうか。

答 空き工場は企業のスピード立地という点で有効であるため、その活用を促進している。このため、活用可能な物件であるか調査し、リストアップしたものをホームページで公開している。今後はさらに調査を進め、情報を追加しながらPRに努めていきたい。

有害鳥獣対策

問 イノシシの捕獲や処理に対してどのような助成を行っているのか。

答 県の試算によるとイノシシ1頭を捕獲し、処理するには、平均1万4千円の費用を要することから、市と県で2分の1ずつを負担し、1万4千円を地元で助成している。

都市型水害対策

問 ゲリラ豪雨時に浸水がひどい箇所対策をどのように進めるのか。

答 浸水対策については、福井豪雨以降、力を入れて進めてきたことから、ゲリラ豪雨時に対策が必要な箇所がより特定できるようになった。そのような箇所への取り組みは河川と下水道整備の観点から総合的に進めていきたい。



学校設備の安全点検

問 東日本大震災では学校の天井やスピーカー、照明設備の落下による死亡事故の事例も報告されているが、本市ではこのような学校設備の安全点検は行っているのか。

答 文部科学省が作成した注意識喚起のパンフレットを各学校に配付した上で、安全対策の必要な箇所の報告を受けている。それに基づき現地調査を行い、学校施設員が共同作業で本棚等の転倒防止を行ったり、工事が必要なものは業者へ発注したりして対応している。

学校への
小型除雪機配備

問 学校への小型除雪機配備について、雪深い地域の学校や校門から玄関までが遠い学校には小型除雪機が必要ではないか。

答 配備にあたっては、同じような課題を抱えた公民館との連携のあり方や誰がどのように小型除雪機を使っていくのかを整理する必要がある。

小学校の英語教育

問 担任の教師は授業の時にALTがおらず一人で指導する場合に苦慮しているが、教師に対してどのような指導をしているのか。

答 平成21年度と平成22年度に小学校高学年を担当する教師に英語教育の研修を行っている。また、今年度からは新たに高学年を担当することになった教師に対して、ALTと綿密に打ち合わせをするよう指導している。



一般質問

当面する諸問題について市の考え方を質問するため、23人の議員が一般質問を行いました。
(※ 議員名の前に付いている番号は質問順、質問内容の掲載は大項目のみ)

(敬称略)

<p>① 石丸 浜夫</p> <p>① 原発防災区域 30kmへ拡大について ② 地震による津波対策について</p>	<p>② 堀川 秀樹</p> <p>① 旧福井県民会館及び福井県青年館跡地活用について ② 災害支援物資の扱い方と送付マニュアルについて ③ 西口再開発ビルにおけるプラネタリウムについて</p>	<p>③ 谷本 忠士</p> <p>① 地域体育館の建設計画について ② 工事検査について</p>	<p>④ 島川 由美子</p> <p>① 児童虐待防止対策について ② 自転車の安全対策について ③ うつ病・自殺対策について ④ 防災対策について</p>
<p>⑤ 泉 和弥</p> <p>① 福井市のまちづくりについて</p>	<p>⑥ 田中 義乃</p> <p>① おいしいふくいの水について ② 福井駅西口中央地区市街地再開発事業について ③ ネーミングライツについて</p>	<p>⑦ 片矢 修一</p> <p>① 福井駅西口中央地区市街地再開発事業について ② 公共施設の防犯対策について</p>	<p>⑧ 吉田 琴一</p> <p>① 足羽山のにぎわいづくりについて ② 旧至民中体育館の改修計画について ③ 福井市地域防災計画の見直しについて</p>
<p>⑨ 奥島 光晴</p> <p>① 異学年型教科センター方式(至民中学校)の成果の検証について ② 福井駅西口中央地区市街地再開発事業に係るにぎわいの創出について</p>	<p>⑩ 青木 幹雄</p> <p>① 産業政策について ② 川西地域の活性化について</p>	<p>⑪ 下畑 健二</p> <p>① 災害対策について ② 放射線教育について ③ オアシスプラン2012(素案)について</p>	<p>⑫ 今村 辰和</p> <p>① 福井市の福祉政策について ② TPP交渉について ③ 道の駅について</p>
<p>⑬ 堀江 廣海</p> <p>① 意義あるまちづくりについて</p>	<p>⑭ 後藤 裕幸</p> <p>① 福井市の環境政策について ② 福井市の観光政策について</p>	<p>⑮ 野嶋 祐記</p> <p>① 福井駅西口中央地区市街地再開発事業と中心市街地の活性化について ② 総合交通計画について</p>	<p>⑯ 皆川 信正</p> <p>① 市長のマニフェストについて ② 福井駅西口中央地区市街地再開発事業について ③ 事業仕分けについて ④ 学校について ⑤ 一乗谷朝倉氏遺跡について ⑥ 県都デザイン戦略について</p>
<p>⑰ 伊藤 洋一</p> <p>① 本市の産業政策について</p>	<p>⑱ 藤田 諭</p> <p>① 福井市の災害時の取り組みについて ② 公民館について</p>	<p>⑲ 鈴木 正樹</p> <p>① 北陸新幹線延伸問題について ② 福井駅西口中央地区市街地再開発事業について ③ 公立保育所民営化について ④ TPPについて</p>	<p>⑳ 玉村 正人</p> <p>① 発達障害児者支援対策について ② 除雪計画について</p>
<p>㉑ 西村 公子</p> <p>① 防災対策と原発ゼロに向けた取り組みについて ② 公契約条例制定に向けた取り組みについて ③ 学童保育の拡充と指導員の待遇改善について ④ バリアフリーのまちづくり(道路、公共施設、トイレ等)について</p>	<p>㉒ 中村 綾菜</p> <p>① 中心市街地について ② 気がかりな子への支援について</p>	<p>㉓ 塩谷 雄一</p> <p>① 福井市の財政について</p>	

一般質問要旨

地震による津波対策

問 地震に伴う津波から市民を守るための対策は。

答 現地を調査し、地元の見を取り入れながら、地域の特性に配慮した避難路、避難場所を明示した津波ハザードマップを作成する。また、避難階段の整備を含め避難路の確保に取り組み。

さらに、地域住民及び観光客に津波からの避難を意識づけるため、海抜を示した表示板や避難を誘導する標識の設置を検討している。

公共工事の品質確保、向上

問 本市における公共工事の品質確保、向上に対する具体的な取り組みは。

答 1点目に、設計審査業務では、上位計画との整合性、工法、仮設状況、安全対策、歩掛け、単価などが適切か審査し、必要な場合には、設計図書の手直しの指示を行っている。

2点目に、工事現場等の観察業務では、工事施工中に随時現場パトロールを実施し、施工体制、技術者の適正配置、下請等の関連法規の遵守状況や施工状況を確認し、監督職員と受注者に

指導、助言を行っている。

3点目に、検査業務では、段階検査等の中間検査を行い、出来形、品質を確認している。また、完成検査時には、成績を評定し、受注者の育成を図っている。

避難所運営訓練

「HUG(ハグ)」

問 避難所運営訓練「HUG」の実施状況は。また、参加者の感想や課題は。

答 10月8日に、日之出公民館で日之出地区自主防災組織の協力を得て実施した。参加者の感想としては、「初めての試みだったが、避難所立ち上げや運営に係わるさまざまなことがわかり、非常に有益だった」という意見が多かった。

また、課題としては、①避難者の受付、収容場所の選定、誘導など係員の役割分担を事前に決めておく必要がある。②避難者の事情に応じた収容場所や部屋の使用部分を事前に決めておく必要がある。③避難所には地域の人だけでなく、旅行者や外国人、重い病気を抱えている人などさまざまな人が集まる場合があり、自主防災組織のみでは対応できないことなどが挙げられた。



福井駅西口中央地区

市街地再開発事業

問 平成30年の福井国体を見据えた今後の具体的なスケジュールは。

答 年内に事業計画を作成し、年度内に再開発組合の設立を目指している。その後は、権利変換計画の作成、実施設計に約1年、さらに既存建物の取り壊しと建築工事に約3年かかるので、完成まで約4年と考えている。

平成30年の福井国体や全国障害者スポーツ大会、またその前に開催されるプレ国体を念頭に置きながら、取り組んでいく。

問 緑、食、歴史を感じる西口再開発ビルを提案したいが、どのように考えているか。

答 福井を訪れた方に、プラネタリウムの臨場感ある映像してもらい、その後実際に一乗合朝倉氏遺跡や越前海岸を訪れていたきたいと考えている。

食については、1、2階の商業スペースで検討していくことになるが、ここは地元地権者など民間が担う部分であるため、今後、店舗展開や業種、業態が具体化する中で、必要に応じた支援をしていきたい。

道の駅

問 国道158号バイパス全線開通を視野に入れ、美山地区に道の駅を計画してはどうか。

答 国道158号は福井市と大野市を結び、産業経済の発展や広域観光交流の促進等に重要な路線であることから、バイパス全線開通後には、中京方面から美山地区を経由しての一乗合朝倉氏遺跡への観光客の増加なども視野に入れ、道の駅の必要性を見極めていきたい。

問 意義あるまちづくりができる人材育成についての考えは。

答 画一的な事務をこなすだけの職員から、自ら企画し、新しいものを生み出すことのできる企画型職員への転換が求められている。そのため、国や県でのOJTを初め、全国の自治体職員が集まる自治体大学校や三井物産株式会社への派遣など多様な研修により、まちづくりに参加する他地域の情報や人のネットワークだけでなく、企画し実践する能力やコミュニケーション能力の習得につなげている。

問 二酸化炭素削減に向けた本市の取り組みは。

答 二酸化炭素削減に向けた本市の取り組みは、

問 北陸新幹線の必要性が市民に理解されていないよ

答 北陸新幹線は、日本海側の国土軸を形成し、大規模災害時に東海道新幹線の代替補完機能も有する国家プロジェクトである。また、観光、産業、経済の面で、北陸圏だけでなく、関東、関西、中京圏との交流を促進し、本市の発展に大きく寄与すると考えている。

問 発達障害児者支援対策

答 7月に開所した地域活動支援センターは、幼児から高校生までの発達障害児約30人の登録があり、対人関係上のルールを学んだり、コミュニケーション能力向上のための療育支援を行っている。保護者に対しては、子供への関わり方についての指導や相談を実施している。

問 活動支援センターのこれまでの支援や相談内容は。

答 7月に開所した地域活動支援センターは、幼児から高校生までの発達障害児約30人の登録があり、対人関係上のルールを学んだり、コミュニケーション能力向上のための療育支援を行っている。保護者に対しては、子供への関わり方についての指導や相談を実施している。

問 発達障害児者支援対策

答 7月に開所した地域活動支援センターは、幼児から高校生までの発達障害児約30人の登録があり、対人関係上のルールを学んだり、コミュニケーション能力向上のための療育支援を行っている。保護者に対しては、子供への関わり方についての指導や相談を実施している。

問 活動支援センターのこれまでの支援や相談内容は。

答 7月に開所した地域活動支援センターは、幼児から高校生までの発達障害児約30人の登録があり、対人関係上のルールを学んだり、コミュニケーション能力向上のための療育支援を行っている。保護者に対しては、子供への関わり方についての指導や相談を実施している。

福井市環境基本計画を進めるために、平成23年に関係団体で組織する福井市環境推進会議を設置し、その中の低炭素まちづくり部会で二酸化炭素削減に向けた取り組みを進めている。

具体的には、自然エネルギーを普及拡大するため、住宅用太陽光発電設備の設置に対する補助や公共交通機関の利用を促進するため、パークアンドライドの推進、地域バス、地域コミュニティバスの運行、駐輪場の整備などに取り組んでいる。

問 昨年度は「見直し」今年度は「統合・再編」と評価された13事業について、追跡して検証が必要ではないか。また、評価の表現があいまいなため、明確にしてはどうか。

答 追跡検証の必要性は十分認識しており、改善を求められた事業については、対応の進捗状況を今年度末にまとめる。「統合・再編」については、複数の事業を一本化する、または同規模のまま実施方法等について見直すという評価だが、今後評価区分も含めて外部点検の手法については改善を図っていきたい。

問 北陸新幹線の必要性が市民に理解されていないよ

答 北陸新幹線は、日本海側の国土軸を形成し、大規模災害時に東海道新幹線の代替補完機能も有する国家プロジェクトである。また、観光、産業、経済の面で、北陸圏だけでなく、関東、関西、中京圏との交流を促進し、本市の発展に大きく寄与すると考えている。

問 発達障害児者支援対策

答 7月に開所した地域活動支援センターは、幼児から高校生までの発達障害児約30人の登録があり、対人関係上のルールを学んだり、コミュニケーション能力向上のための療育支援を行っている。保護者に対しては、子供への関わり方についての指導や相談を実施している。

問 活動支援センターのこれまでの支援や相談内容は。

答 7月に開所した地域活動支援センターは、幼児から高校生までの発達障害児約30人の登録があり、対人関係上のルールを学んだり、コミュニケーション能力向上のための療育支援を行っている。保護者に対しては、子供への関わり方についての指導や相談を実施している。

うだが、市の見解は。

北陸新幹線は、日本海側の国土軸を形成し、大規模災害時に東海道新幹線の代替補完機能も有する国家プロジェクトである。また、観光、産業、経済の面で、北陸圏だけでなく、関東、関西、中京圏との交流を促進し、本市の発展に大きく寄与すると考えている。

今後は、さらに県と連携しながら、県民、市民に理解してもらえよう広報に努めていく。

問 発達障害児者支援対策

答 7月に開所した地域活動支援センターは、幼児から高校生までの発達障害児約30人の登録があり、対人関係上のルールを学んだり、コミュニケーション能力向上のための療育支援を行っている。保護者に対しては、子供への関わり方についての指導や相談を実施している。

問 活動支援センターのこれまでの支援や相談内容は。

答 7月に開所した地域活動支援センターは、幼児から高校生までの発達障害児約30人の登録があり、対人関係上のルールを学んだり、コミュニケーション能力向上のための療育支援を行っている。保護者に対しては、子供への関わり方についての指導や相談を実施している。

問 活動支援センターのこれまでの支援や相談内容は。

答 7月に開所した地域活動支援センターは、幼児から高校生までの発達障害児約30人の登録があり、対人関係上のルールを学んだり、コミュニケーション能力向上のための療育支援を行っている。保護者に対しては、子供への関わり方についての指導や相談を実施している。

問 活動支援センターのこれまでの支援や相談内容は。

答 7月に開所した地域活動支援センターは、幼児から高校生までの発達障害児約30人の登録があり、対人関係上のルールを学んだり、コミュニケーション能力向上のための療育支援を行っている。保護者に対しては、子供への関わり方についての指導や相談を実施している。

12月27日	本会議	12月臨時会	12月27日	西口再開発対策特別委員会	○	○
29日	議員全員協議会、本会議		12月21日	議会運営委員会	○	○
25日	議会運営委員会		25日	福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会	○	○
24日	予算特別委員会		21日	議会改革特別委員会	○	○
22日	予算特別委員会		11日	都市行政問題研究会役員会(東京都)	○	○
15日	教育民生委員会、経済企業委員会		11日	全国市議会議長会第185回理事会、第91回評議員会(東京都)	○	○
14日	総務委員会、建設委員会市内視察		2日	福井県市町議会議員合同研修会	○	○
10日	本会議		11月1日	福井県後期高齢者医療広域連合議会	○	
9日	本会議		27日	安全安心なまちづくり対策特別委員会県外視察(〜28日 仙台市、南相馬市)		
8日	本会議			産業活性化対策特別委員会県外視察(〜28日 鹿児島市、熊本県菊陽町)		
4日	議会運営委員会			西口再開発対策特別委員会県外視察(〜28日 千葉市、東京都渋谷区)		
26日	議会運営委員会			北信越市議会議長会理事会、評議員会(長野市)	○	○
24日	議員全員協議会			全国競輪主催地議会議長会役員会第109回臨時総会(函館市)	○	○
21日	安全安心なまちづくり対策特別委員会			西口再開発対策特別委員会	○	○
20日	産業活性化対策特別委員会			議会運営委員会	○	○
17日	議会改革特別委員会			福井県市議会議長会中央要望活動(東京都)	○	○
11日	全国競輪主催地議会議長会役員会(東京都)			水原市友好都市提携10周年記念訪問(〜9日)	○	○
10月5日	全国競輪主催地議会議長会役員会(東京都)		9月30日	決算特別委員会(〜10月3日、4日)	○	○
				議長		出席
				副議長	○	

特別委員会 県外視察報告		
10月に県外の先進都市を視察しました。各委員会の視察先については以下のとおりです。		
委員会名	開催日	視察先
西口再開発対策特別委員会	10月27日(木)～10月28日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ●きばーる(千葉中央第六地区第一種市街地再開発事業)について(千葉市) ●文化総合センター大和田について(東京都渋谷区)
産業活性化対策特別委員会	10月27日(木)～10月28日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ●遊休農地対策及び担い手育成について(鹿児島市) ●(株)熊本海道工業(熊本県菊陽町)
安全安心なまちづくり対策特別委員会	10月27日(木)～10月29日(土)	<ul style="list-style-type: none"> ●東日本大震災の災害対応と復興への取り組みについて(仙台市) ●原子力災害で設定された区域について(南相馬市)

常任委員会 市内視察報告		
11月に市内を視察しました。視察先については以下のとおりです。		
委員会名	開催日	視察先
建設委員会	11月14日(月)	●底喰川周辺浸水箇所及び浸水対策箇所

(12月定例会) 議案等の審議結果			
議案番号	件名	審議結果	
第 65 号議案	平成22年度福井市各会計歳入歳出決算の認定について	11月 2日	認 定
第 66 号議案	平成22年度福井市下水道事業会計、ガス事業会計及び水道事業会計決算の認定について	〃	〃
第 67 号議案	平成23年度福井市一般会計補正予算	11月29日	原案可決
第 68 号議案	平成23年度福井市国民健康保険特別会計補正予算	〃	〃
第 69 号議案	平成23年度福井市介護保険特別会計補正予算	〃	〃
第 70 号議案	福井市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	〃	〃
第 71 号議案	福井市土地改良事業等分担金賦課徴収条例の一部改正について	〃	〃
第 72 号議案	福井市公民館設置に関する条例の一部改正について	〃	〃
第 73 号議案	福井市体育施設条例の一部改正について	〃	〃
第 74 号議案	福井市伊自良館の指定管理者の指定について	〃	〃
第 75 号議案	福井市聖苑の指定管理者の指定について	〃	〃
第 76 号議案	教育委員会委員の任命について	〃	同 意
第 77 号議案	福井市職員の給与に関する条例等の一部改正について	〃	原案可決
第 32 号報告	専決処分の報告について(工事請負契約の変更について)	11月 2日	受 理
第 33 号報告	専決処分の報告について(工事請負契約の変更について)	〃	〃
第 34 号報告	専決処分の報告について(工事請負契約の変更について)	〃	〃
市会案第 5 号	緊急事態基本法の早期制定を求める意見書について	11月29日	原案可決

(12月定例会) 請願・陳情等の審議結果			
請願・陳情番号	件名	審議結果	
請願第 2 号	緊急事態基本法の早期制定を求める意見書提出について	11月29日	採 択

(12月臨時会) 議案等の審議結果			
議案番号	件名	審議結果	
第 78 号議案	福井市保育実施条例の一部改正について	12月27日	原案可決
第 35 号報告	専決処分の報告について(工事請負契約の変更について)	〃	受 理

「福井市議会に関するアンケート」にご協力いただきありがとうございました



福井市議会では、市民の皆様からの期待に一層こたえるために、みずからを改革しなければならないと考えております。そこで、議会改革特別委員会を設置し論議を重ねておりますが、市民の皆様が議会に対してどのように考え、何を望んでいるか、率直なご意見を把握するとともに、議会が取り組むべき課題等について調査研究を進めていくことを目的として、20歳以上の市民の皆様の中から2,000人を無作為に選ばせていただき、昨年末に市民アンケートを実施いたしました。

当アンケートの趣旨をご理解いただき、多くの皆様にご協力いただきましたことに厚くお礼申し上げます。また、お寄せいただきましたご意見等は今後の議会改革のための貴重なデータとして活用して参りたいと存じます。

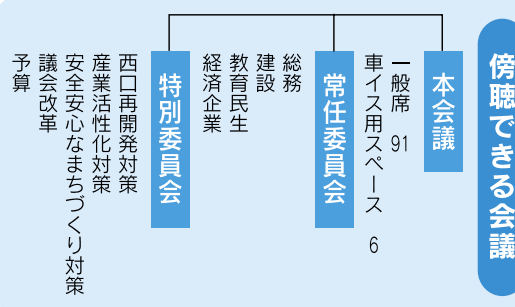
福井市議会

なお、アンケートの集計結果は、ホームページでご覧いただけます。市議会のホームページのアドレスは次のとおりです。

<http://www.city.fukui.lg.jp/d570/sigikai/index.html>

お問い合わせ
0776-20-5510
議会事務局議事調査課

なお、本会議 予算特別委員会の模様は、ふくチャンネル(福井ケーブルテレビ：092ch、美山地区はこしの国ケーブルテレビ：092ch)で生中継及び録画放映されます。



傍聴してみませんか

次回は
3月定例会です
(日程はホームページに掲載中です)

請願・陳情等とは、基本的いつでも提出できますが、年4回(3・6・9・12月)開催される定例会で審議されますので、提出時期等詳細については事前に議会事務局にお問い合わせください。

請願・陳情等の提出について